

ローランド ディー.ジー.株式会社

第43期（2023年12月期）
定時株主総会

2024年3月29日

はじめに

3/26公表

「XYZ株式会社による当社の普通株式に対する公開買付けに関する意見の変更についてのお知らせ」

3/27公表

「XYZ株式会社によるローランド ディー.ジー.株式会社株式（証券コード：6789）に対する公開買付けの買付条件等の変更等に関するお知らせ」

「（変更）「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部変更に関するお知らせ」

報告事項

1. 第43期（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第43期（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）計算書類報告の件

決議事項

- | | |
|-------|------------|
| 第1号議案 | 取締役 6名選任の件 |
| 第2号議案 | 監査役 2名選任の件 |

監查報告

監査役会の監査報告書

監査報告書

当監査役会は、2023年1月1日から2023年12月31日までの第43期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等の監査計画に従い、オンライン会議ツール等も活用しながら、取締役、執行役員、監査室等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施いたしました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役、執行役員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等との意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を求め、その業務及び財産の状況を調査いたしました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制(内部統制システム)について、取締役及び執行役員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」(会社計算規則第131条各号に掲げる事項)を「監査に関する品質管理基準」(企業会計審議会)等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書並びに連結計算書類(連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表)について検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
 - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2024年2月13日

ローランドディー.ジー.株式会社 監査役会

常勤監査役 鈴木正康 ㊟

常勤監査役 長野直樹 ㊟

社外監査役 本田光宏 ㊟

社外監査役 井熊芽久美 ㊟

以上

監查報告

第43期 事業報告

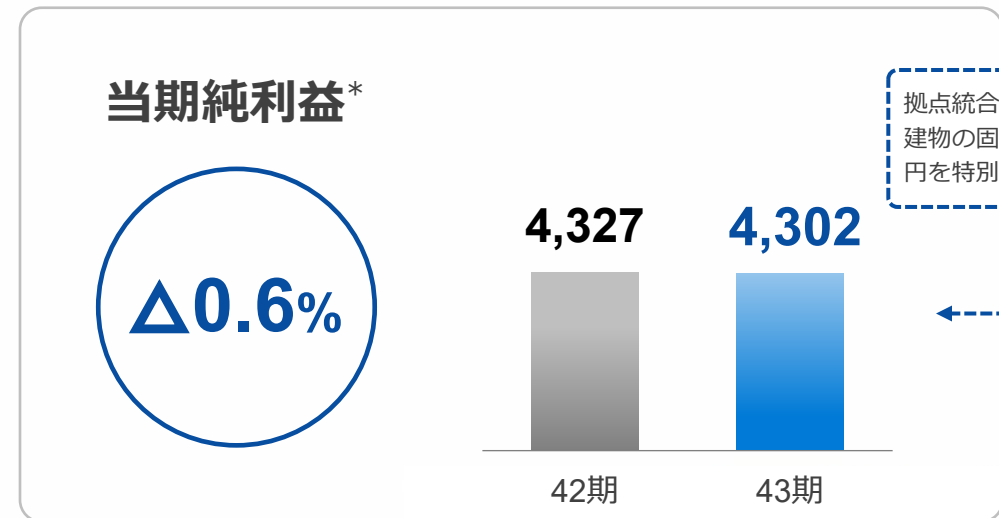
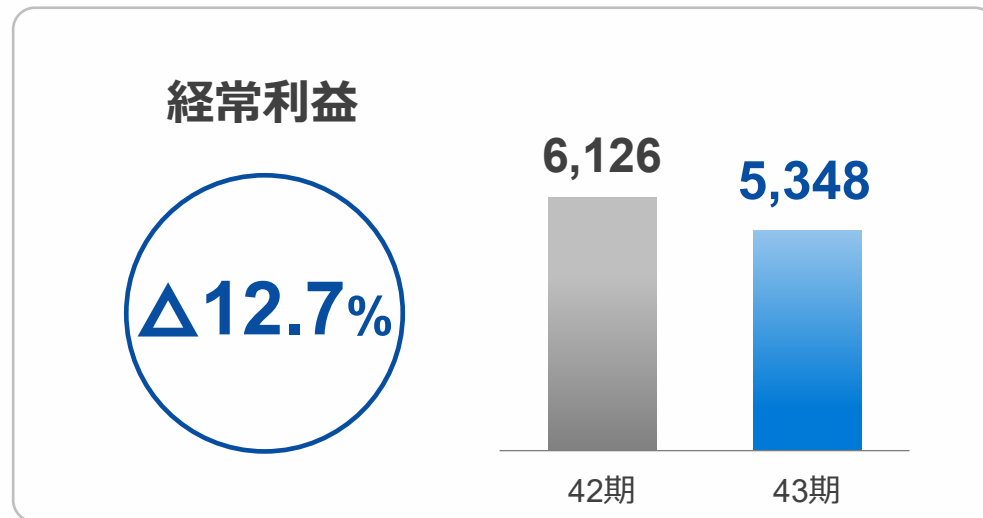
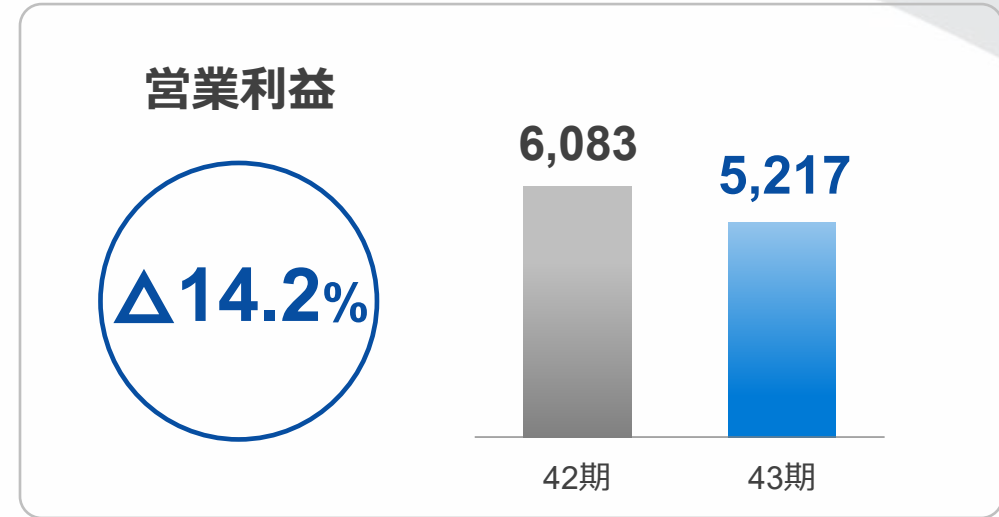
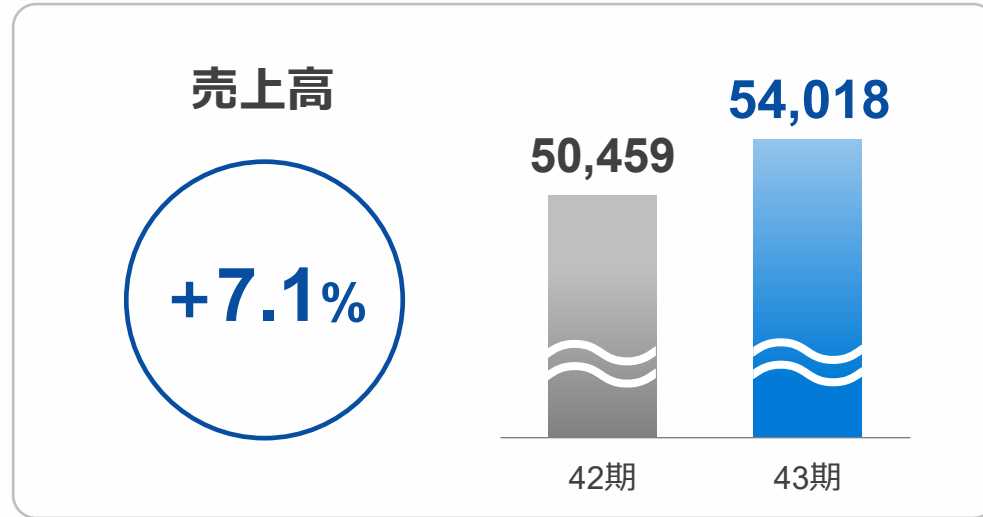
（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

第43期 連結業績

連結業績

43期 前期比

(単位：百万円)



*当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

売上高・営業利益 増減要因

前
期
比

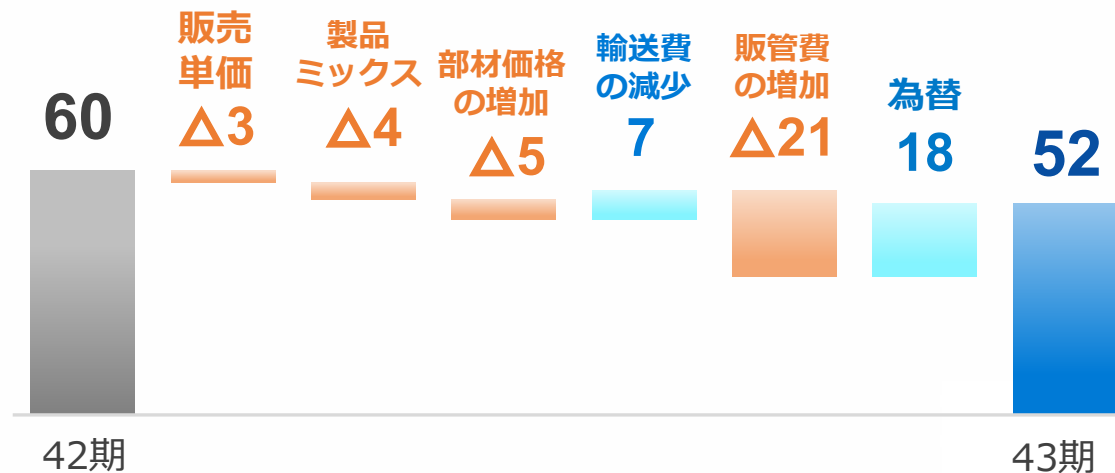
(単位：億円)

売上高



期中平均レート (単位：円)	USD	131.46	140.56	106.9%
	EUR	138.11	152.04	110.1%

営業利益



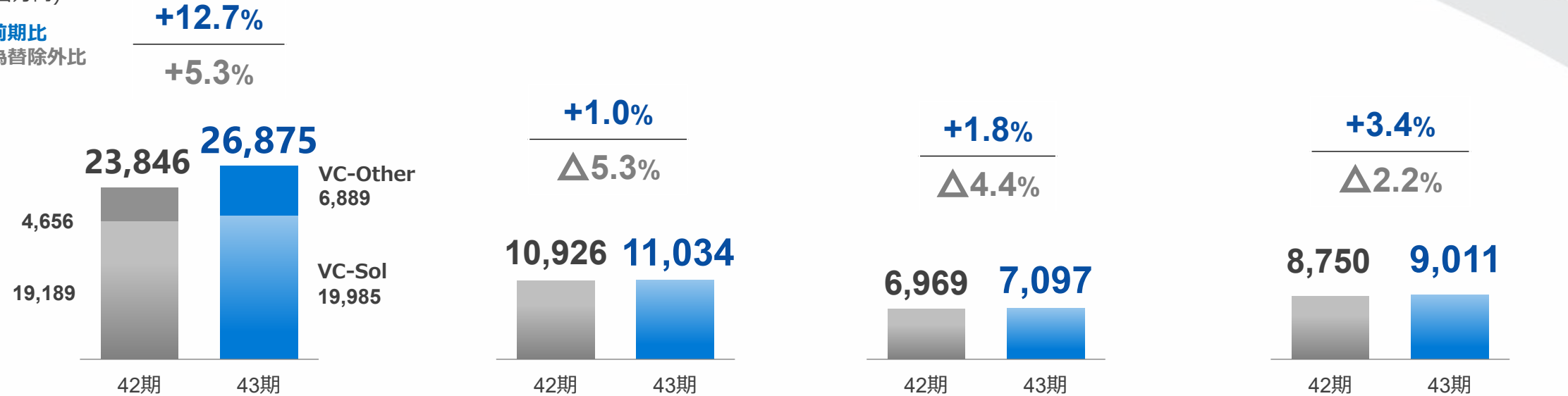
- 主な販管費の増加分
- ・人件費 +5
 - ・旅費交通費 +3
 - ・運搬保管料 +2
 - ・広告販促費 +2
 - ・R&D +2
 - ・手数料 +2
 - ・減価償却費 +1
 - ・その他 +4 (消耗品他)

市場別売上高

前期比

(単位：百万円)

上段：前期比
下段：為替除外比



Visual Communication

- 1月に発売した新製品のUV・レジンなど非溶剤プリンターと、サプライのインクが増加 (VC-Other)
- 昨年発売したサイン市場向け低溶剤プリンター「TrueVISシリーズ」とサプライの低溶剤インクが増加したほか、9月には新興国向けブランド「DGXPRESS」に低溶剤モデルを追加し発売開始 (VC-Solvent)

Digital Fabrication

- 1月に発売した卓上型アパレル向けプリンター「BN-20D」は好調に推移、9月には低溶剤インクBNシリーズをフルモデルチェンジした「BN2-20/20A」を発売
- 卓上型UVプリンターのインクが増加
- 3次元切削加工機と小型カッティングマシンの販売が減少

Dental

- 昨年9月に発売した高生産モデル「DWX-53DC」の販売が堅調に推移するも、スタンダードモデル「DWX-52D」など既存機種の販売が低調
- 価格競争力を高めた新興国向けモデル「DWX-52Di」が中東・中南米・アジア・東欧で販売拡大

Service, Software & Others

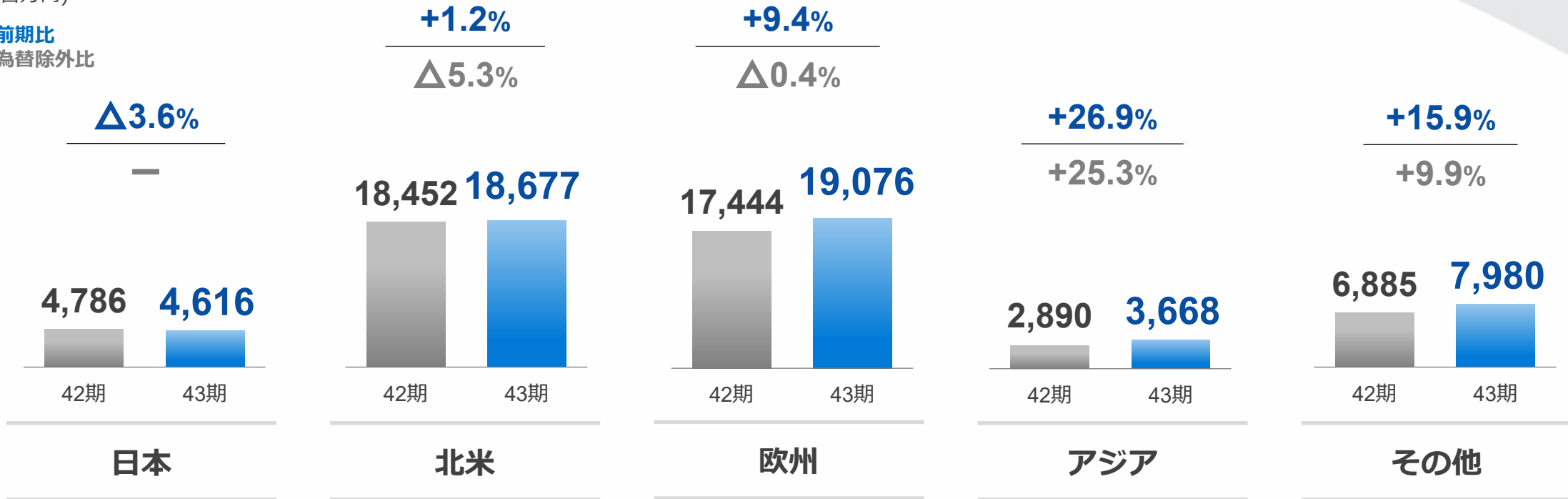
- サービスパーツやその他サービスの販売が増加

地域別売上高

前期比

(単位：百万円)

上段：前期比
下段：為替除外比



- 印刷幅54インチ以上のサイン市場向けの低溶剤プリンターおよびロールタイプのUVプリンターとUVインクが増加
- 3次元加工機の販売が減少
- デンタルは「DWX-52D」と前期に保険適用により販売増加した「DWX-4」が減少

- 新製品のロールタイプのUVプリンター、サプライの低溶剤とUVインクが増加
- Co-CreationモデルのフラットベッドUVプリンターが増加、卓上型プリンターBNシリーズは減少
- デンタルの新製品「DWX-53DC」が堅調だったものの既存製品が低調

- 新製品のロールタイプUVプリンターが好調 (一部地域でシェアNo.1*)
- 卓上型プリンター「BNシリーズ」が増加
- 東欧でデンタル加工機「DWX-52Di」が増加

* 調査会社資料に基づく当社試算

- 中国とASEAN地域でサイン市場向け低溶剤プリンターと新興国向けデンタル加工機の販売が増加
- インドでデンタル加工機の販売が増加

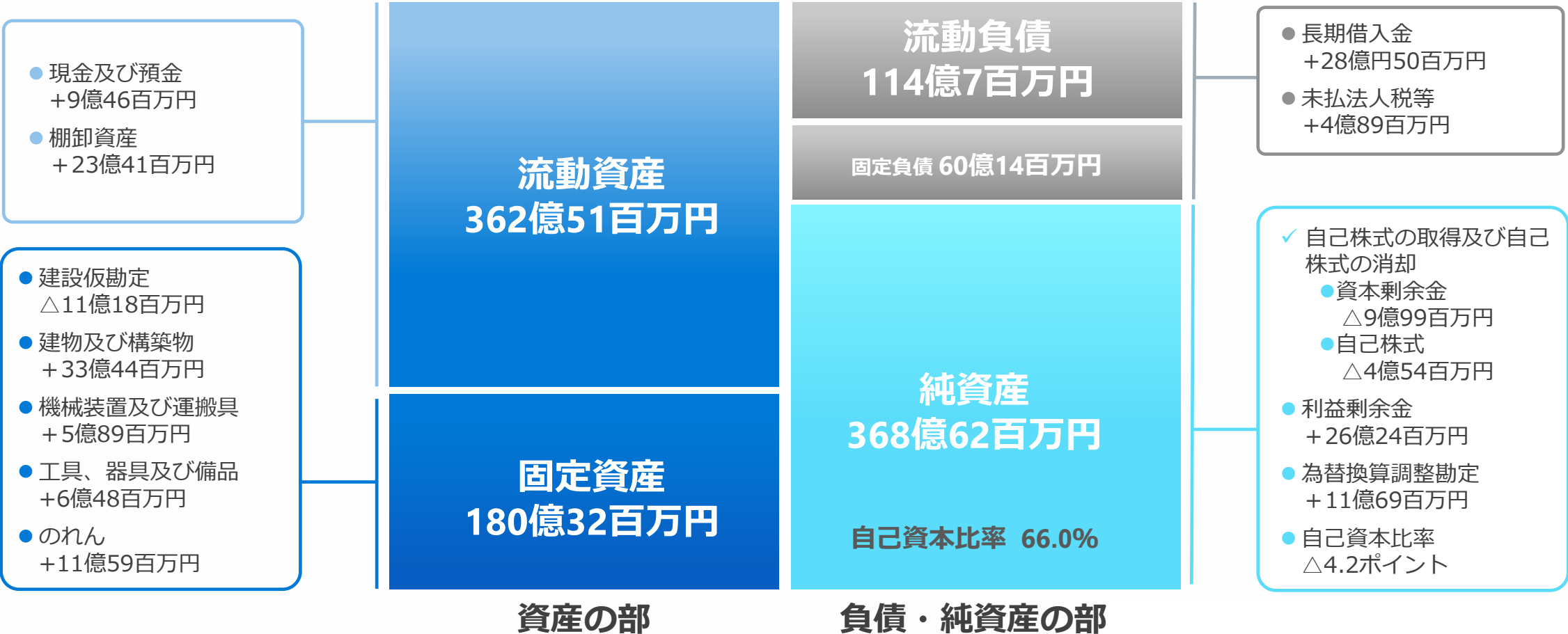
- ブラジルでは「DGXPRESS」のUVプリンターとデンタル加工機「DWX-53DC」が好調に推移
- 中東・中部アメリカ地域で新興国モデル「DWX-52Di」の販売が伸長
- 豪州でUVプリンターとインクが増加

要約連結貸借対照表

2023年12月31日現在

総資産 542億83百万円

※増減は前期末比



取締役・監査役および執行役員の専門性と経験

3月29日定時株主総会後の予定

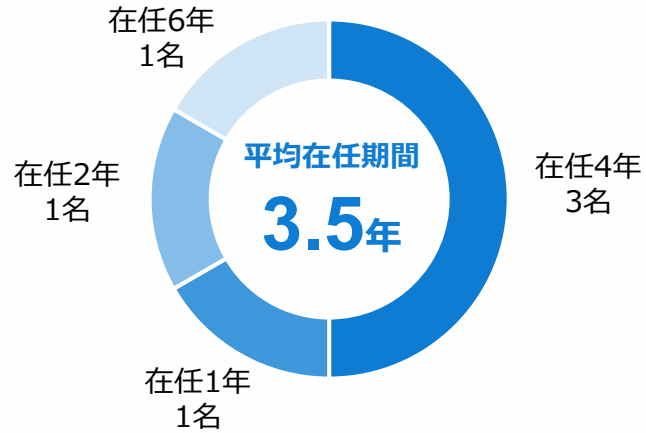
	氏名	基本スキル					戦略スキル					
		企業経営	製造・技術 研究開発	販売・ マーケティング	財務・会計	コンプライアンス・ リスクマネジメント	オープンイノベーション・ 新事業創出	M&A・ アライアンス	IT/DX推進	コーポレート・ コミュニケーション	サステナビリティ 経営*	グローバル 経験
取締役 社長執行役員	田部 耕平	●		●			●					●
取締役 常務執行役員	アンドリュー・オランスキー	●		●			●					●
社外(独立)取締役	細窪 政	●			●	●	●	●				●
社外(独立)取締役	岡田 直子	●		●		●		●	●	●		●
社外取締役	ブライアン・K・ヘイウッド	●		●	●	●	●	●		●		●
社外(独立)取締役	笠原 康弘	●				●	●	●			●	●
常勤監査役	長野 直樹				●	●						●
社外(独立)監査役	本田 光宏				●	●					●	●
社外(独立)監査役	井熊 芽久美	●			●		●					●
常務執行役員	尾藤 寿	●	●				●		●			●
常務執行役員	小川 和宏	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
執行役員	倉田 裕司		●						●			●
執行役員	トニー・ミラー			●			●	●				●
執行役員	繁野谷 隆文	●	●	●			●	●				●

※サステナビリティ経営にはダイバーシティ&インクルージョン(D&I)、人材育成、SDGsのスキルを含む

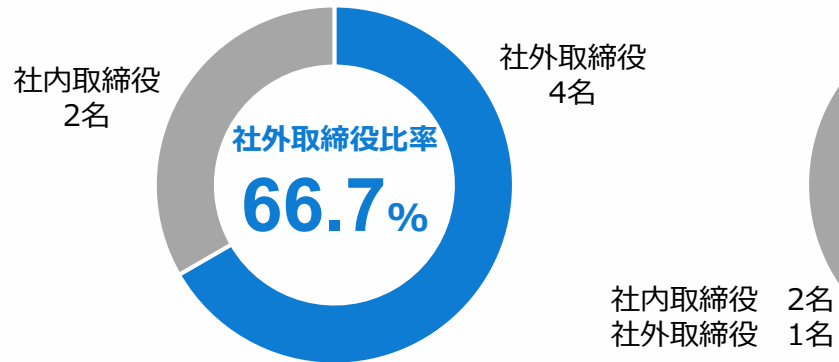
コーポレートガバナンス ハイライト

※3月29日の第43期定時株主総会で承認可決された場合の数値

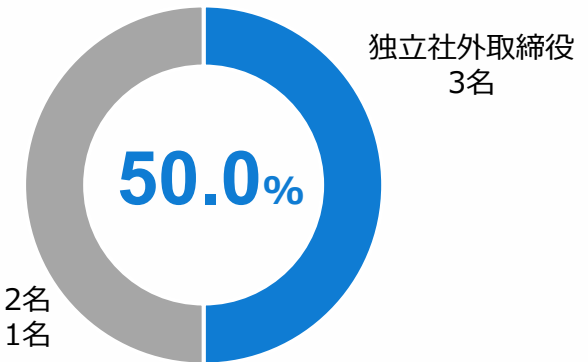
在任期間



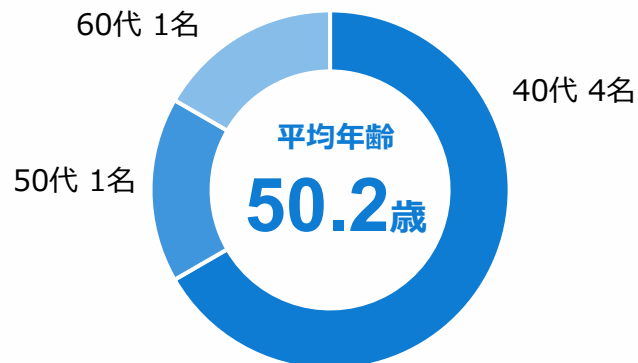
取締役構成



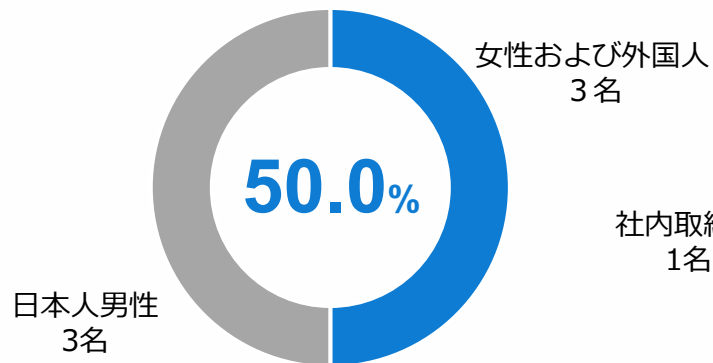
独立性比率



年齢

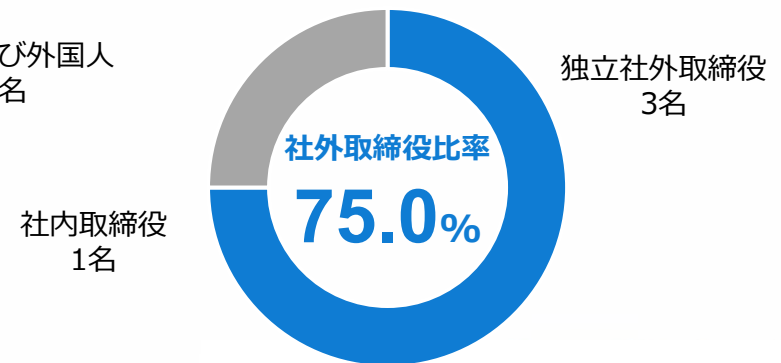


ダイバーシティ



指名・報酬委員会構成

※2023年12月31日時点



※議長は社外取締役

ESGの取り組み

Environment (環境)

- ・ 環境に配慮した紙ベースのインクカートリッジを発売
- ・ 浜松カーボンニュートラル達成事業者認定
- ・ 気候変動による財務影響額の情報開示を推進。初回答のCDPではB-を獲得

Social (社会)

- ・ データの有効活用による顧客サービス・サポートの充実、付加価値向上支援
- ・ 生産現場の業務負荷や労働力不足等の課題解決をサポートするRoland DG Assembleの発売
- ・ 創造的なワークシーンと健康的なワークライフをサポートする新社屋

Governance (ガバナンス)

- ・ ROIC経営による資本コストや株価を意識した経営の推進
- ・ サステナビリティ委員会にて重要サステナビリティ課題（マテリアリティ）を特定
- ・ 戦略リスクを包含する全社的リスクマネジメント体制の強化

ワクワク Purpose: 世界の創造をデザインする



わたしたちは、革新的なデジタルソリューションを通して、世界中の人々に創造の素晴らしさや楽しさ、そこから生まれる驚きや感動を提供します。

The logo consists of a blue rectangle on top and a dark grey rectangle below it, both of the same width and height.

Roland

決議事項

報告（ご出席の株主数及びその議決権の数）

議決権を有する株主数	19,082名
その議決権の数	123,058個

取締役候補者

- | | | |
|---|------------------------|-------------|
| 1 | 田部 耕平 | (たなべ こうへい) |
| 2 | アンドリュー・オランスキー | |
| 3 | ※ 細窪 政 | (ほそくぼ おさむ) |
| 4 | ※ 岡田 直子 | (おかだ なおこ) |
| 5 | ※ ブライアン・K・ヘイウッド | |
| 6 | ※ 笠原 康弘 | (かさはら やすひろ) |

※ 社外取締役候補者

監査役候補者

- | | | |
|---|---------|------------|
| 1 | 長野 直樹 | (ながの なおき) |
| 2 | ※ 本田 光宏 | (ほんだ みつひろ) |

※ 社外監査役候補者

取締役及び監査役の紹介



井熊 芽久美



本田 光宏



長野 直樹



アンドリュー・
オランスキー



田部 耕平



笠原 康弘



細窪 政



岡田 直子



ブライアン・K・
ハイウッド

議長席